

六本松商店連合会

どんな商店街？

かつて六本松地域にあった複数の商店街と近隣の店舗が結束して生まれた組織です。

時代の流れや再開発でアーケードは解体されてしまいましたが、北は大濠、南は梅光園まで広域なエリアに個性豊かな店舗が集う次世代型商店街として地域と店舗の活性化に取り組んでいます。



六本松ウォーキングイベント

博多駅と直結した利点を活用した 六本松地域の更なる活性化のために

1. 商店街の課題

六本松は福岡市科学館有する六本松421を中心とした新しい街に生まれ変わりましたが、新しい商業施設のみならず裾野南北に広がる古き良き街にも個性豊かな魅力的なお店と路地が広がっており、この**周知が必要**です。

2. 「バルウォーク」と「アートウォーク」を開催

既に定着した六本松バルウォークも13回目を迎え、421テナント会が主催する午前の「健康ウォーク」と午後の「バルウォーク」が同日開催で連携し、**地域の新たな催しとして定期開催**を目指しています。

新しい試みの「アートウォーク」は近隣公共施設との連携と街歩きの新たなきっかけづくりとしてスタートしました。



3. 効果があったと思われること

「バルウォーク」は引換所を廃止し、引換業務を各店舗対応にすることで**運営の効率化を実現**することができました。参加店舗数は23店舗でした。

「アートウォーク」は参加者数は伸び悩んだものの、参加店舗数は28店舗で、バルウォークに参加できない**飲食以外の店舗も一緒に取り組む**ことができました。



4. 来街者の声・会員さんの声

「バルウォーク」は今年も大盛況となりました。新規参加店舗も増えており、複数の店舗ではバルをきっかけにピーターにつながったとの声があります。

「アートウォーク」は少人数ながらご年配のご夫婦やおひとりさま、親子連れでの参加など文化意識の高い方にご参加いただきました。アートツアーにご参加いただいた方は、裏路地を巡って大満足です！と喜んでいただきました。

5. 反省点や今後の取り組み

六本松421を中心に南北への街歩きを推進するウォーキングイベントも充実してきました。「アートウォーク」は集客面での課題があり、今後の定例化に向けたデジタル対応などを進めて参ります。